

医療社会学

【Medical Sociology】

担当責任者 講師（人間関係論） 種田 博之

ねらい

私たちの社会はこれまでに何度も薬害を経験してきました。私たちが経験してきた薬害の中に「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」——いわゆる「薬害エイズ」——があります。「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」とは、血友病患者に対して輸入非加熱血液製剤を投与し、その結果、HIVに感染させてしまった薬害です。この講義では、「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」について、とくに医師-患者関係のレベルに焦点をしばって、解説をしていきます。すなわち、なぜ医師は輸入非加熱血液製剤を投与しつづけたのでしょうか？ 投与するにあたってHIVのリスクはどのように評価されたのでしょうか？ その評価は患者に如何に伝えられたのでしょうか？ HIVに感染させてしまった時、医師はそのことを患者に如何に伝えたのでしょうか？ HIVに対して有効な治療方法がなかった時に、医師は患者に対して如何なる対処をしたのでしょうか？ そして医師と患者（ないしその家族など）をとりまく社会状況はどのようなものであったのでしょうか？ この講義では、上で示した問いに応えるようなかたちで、「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」について、具体的に解説していきます。

学修目標

1. 「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」の経緯について説明できる。（Ⅰ-1, Ⅰ-3, Ⅰ-4, Ⅰ-5, V-5）
2. リスク評価の問題点について説明できる。（Ⅱ-9, Ⅱ-11, Ⅱ-12, IV-7, V-5）
3. 「告知」とはどのような行為であるのかについて説明できる。（IV-8, VI-1, VI-3）

事前事後学習の方法

1. 参考文献リストに挙示した文献を事前に予習しておくこと。
2. 配布された資料を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 講義ごとの小レポート(70%)と課題レポート(30%)の結果をもとに総合的に評価する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○教科書

とくに指定しない。

○参考書

適宜指示する。

1 年 次

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.7	火	1・2	医療社会学とは？ 小レポート	SO SO SO CS	01 04 06 05	05		種田 博之
10.14	火	1・2	「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」の概要 小レポート	SO SO SO CS	01 04 06 05	05		種田 博之
10.21	火	1・2	血友病とHIV／AIDSの基礎的知識 小レポート	PS PS PS CS	01 01 03 02	03 04 03 04	11,22 13 02,04,38	種田 博之
10.28	火	1・2	HIV／AIDSの表象 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之
11.11	火	1・2	HIV／AIDSのリスクはどのように評価されたのか？ 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之
11.18	火	1・2	治療方法がない状況における医師－患者関係 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之
11.25	火	1・2	医師と患者の適正なコミュニケーションとは？ 小レポートならびに課題レポート	PR GE CM SO	01-04 01,03, 04 01-03 04,06			種田 博之